

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 曙ブレーキ山陽製造株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-1201 岡山県総社市久代1966-8	
本票作成	部署名：品質技術部 技術3課				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	自動車用・産業機器用のブレーキ製造 従業員数 400名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備第一工場		岡山県総社市久代1966-8	
	②	吉備第二工場		岡山県総社市久代1920-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 2 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 2 年度)	(令和 5)年度排出量	目標年度(令和 7 年度)
	4,858 t CO ₂	6,615 t CO ₂	4,615 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 5)年度排出量
	①	吉備第一工場	3,947 t CO ₂
	②	吉備第二工場	2,668 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 13.5 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 吉備第一工場, 吉備第二工場 各工場の各セグメント生産数合算	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		1.425 t CO ₂ /(個)	1.618 t CO ₂ /(個)	1.353 t CO ₂ /(個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 5 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

省エネ案件表を元に省エネ活動の展開実施し、成り行きの部分もあるが23年度は約109 tのCO₂削減。ただし受注減により定時間に満たない端数生産ラインが多く発生し、エネルギー効率の悪化につながっている。特定ラインのみ稼働時間長く、そのラインだけのために工場動力を使用している事で効率悪化。また全体的な受注減により通常の稼働日月でも長期連休並みの生産数となる月が多く発生し、その場合にインフラなどのベース電力分どうしても悪化となっている。生産数は連休並みに少ない➡だが稼働日数は多い(工場全体での稼働停止はできない)➡原単位悪化となっている。また老朽化の進んだ古い設備の増加により効率の悪化もあり。

【推進体制】

・企業グループ全体で省エネに取り組んでいる。各拠点で原単位・排出量目標を設定。活動報告し、検討・改善を様々な角度から取り入れるよう工夫している。また定期でグループ全体で環境報告会を開催し、他拠点の事例も参考に検討・改善を様々な角度から取り入れるよう工夫している。
 ・省エネ案件表を作成し、案件積み上げと対策実施の管理。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
吉備第一工場 吉備第二工場	(令和5年度実施分) ○継続案件：遅出一早出間の工場動力OFF (CO2削減実績 4t/年) ○継続案件：ボイラー運転効率化 (CO2削減実績 10t/年) ○継続案件：ボイラー直間待機運転停止 (CO2削減実績 2.5t/年) ○継続案件：長期連休中の省エネ (CO2削減実績 10t/年) ○継続案件：水銀灯間引き (CO2削減実績 1t/年) ○継続案件：接着炉循環ファンINV化 (CO2削減実績 11t/年) ○継続案件：加熱排熱利用 (CO2削減実績 3t/年) ○新規実施：冷却水ポンプ インバーター制御化 (CO2削減実績 2.6t/年) ○新規実施：冷却水ポンプ 冬季限定で深夜時間帯運転停止 (CO2削減実績 10t/年) ○新規実施：ボイラー圧力低減 (CO2削減実績 2.9t/年) ○新規実施：クーラントポンプ運転時間削減 2機 (CO2削減実績 2.2t/年) (今後実施予定分) ○新規実施：洗浄設備ヒーター停止 6機 (CO2削減実績 6.1t/年) ○新規実施：天井扇停止 2機 (CO2削減実績 5.0t/年) ○新規実施：天井扇スポットクーラー更新 2機 (CO2削減実績 1.6t/年) ○新規実施：プレスエリア天井照明LED化 (CO2削減実績 9t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	2028年に太陽光導入検討中
その他	無	

【その他特記事項】

・国内別拠点と省エネ改善案件・情報の共有化を実施